

一関工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	センシング工学	
科目基礎情報							
科目番号	0006		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	生産工学専攻		対象学年		専1		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	センサ工学 稲荷 隆彦 コロナ社 2,625円						
担当教員	明石 尚之						
到達目標							
【教育目標】 D 【学習・教育到達目標】 D－1							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	超音波の振る舞いおよび発生・検出の原理について明快に説明することができる、応用問題を解くことができる。		超音波の振る舞いおよび発生・検出の原理について説明することができ、基本問題を解くことができる。		超音波の振る舞いおよび発生・検出の原理について説明することができない。		
評価項目2	超音波を用いたセンシングの原理および応用例について明快に説明することができる。		超音波を用いたセンシングの原理および適用例について説明することができる。		超音波を用いたセンシングの原理について説明することができない。		
評価項目3	光・温度・磁気・圧力・位置のセンサの原理およびo応用例について明快に説明することができる。		光・温度・磁気・圧力・位置のセンサの原理およびo適用例について説明することができる。		光・温度・磁気・圧力・位置のセンサの原理を説明することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	センシングは、産業界ではなくてはならない技術である。本講義は、種々のセンシングの原理を学び、正しい理解のもとで利用できることを目的とする。						
授業の進め方・方法	授業は講義を中心に進める。事前学習として、教科書の該当部分をよく読んでおくこと。						
注意点	試験結果(100%)で評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。各種センシングの原理と応用に関する理解の程度を評価する。総合成績60点以上を単位修得とする。自学自習をしてレポートを提出すること。自己学習レポートの未提出が、4分の1を超える場合は不合格点とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	センサについて		センサの基本性能について説明できる。		
		2週	超音波の基本原理		音の定義、表現方法を説明できる。		
		3週	超音波の伝搬		超音波の伝搬について説明できる。		
		4週	超音波の発生・検出		超音波の発生・検出原理を説明できる。		
		5週	超音波によるセンシング		音波を利用した計測法を説明できる。		
		6週	超音波によるセンシング		音波を利用した計測法を説明できる。		
		7週	赤外線によるセンシング		赤外線を利用した計測法を説明できる。		
		8週	小テスト				
	2ndQ	9週	半導体の性質		センサに係る半導体の性質を説明できる。		
		10週	光のセンサ		光センサの原理・使用方法を説明できる。		
		11週	温度のセンサ		温度センサの原理・使用方法を説明できる。		
		12週	磁気センサ		磁気センサの原理・使用方法を説明できる。		
		13週	圧力のセンサ		圧力センサの原理・使用方法を説明できる。		
		14週	位置のセンサ		位置センサの原理・使用方法を説明できる。		
		15週	期末試験				
		16週	センサの総括				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0